

## ニュージーランド星空事情 クイーンズタウンで星見編

さて、先月は Tekapo での撮影行まで書きました。翌日 12 月 23 日は、朝の 10 時半ごろに起き出して、動物が放し飼いされている近くの広場で遊んだあと、定番の湖畔レストランでお昼を食べ、そのあと Aoraki Mount Cook 国立公園の観光に寄り道などをして、夕方になった頃 Queenstown のホテルに戻りました。

ホテルでは、疲れが出たのか体調がすぐれなかったため、軽い夕食をルームサービスで取り寄せて食べ、早々に休もうかと思ったのですが、あまりの天気の良さに、さらには、宇宙天気予報でオーロラアラートが出ていたので、短時間勝負を決意して、昨日に下見をした観望場所に出かけることにしました。

外に出て驚いたのは、すでにホテルの駐車場でも一級品の星空が見えていて、星景を狙わなければ、十分に星空の観測ができる暗さになっていることでした。さらに出かけた先の観望場所では、背後の住宅地？のナトリウムランプや遠景の市街地の灯りが少し気になるものの、雲 1 つ無い快晴の空に申し分のない南天の星空が広がっていました。そして、肉眼で見る限りはよくわからなかったのですが、写真に撮ると南の地平線近くが赤くグローしていて、地平線の向こう遙か遠くでオーロラが輝いていることが伺われました。やはり、標高があるからでしょうか、大きな都市からも遠く、とてもコントラストの高くっきりとした星空が見えていて、本格的な機材を持ってこなかったことを少し悔やみつ、ひとしきり星空を堪能し、最後は、連日通過する ISS を見送って、その日の観望を終えました。



翌 24 日も快晴の最高の観光日和となり、早朝から片道 280Km の道のりを Milford Sound の観光に出かけました。観光船の予約もしてあるし、行程がタイトであるにもかかわらず、またぞろ素敵な風景のところでは何度も立ち停まり、景色を楽しみながらのドライブとなりました。



Queenstown に戻ったのはもう夕刻（といっても 21 時過ぎ）で、市街地のレストランで（クリスマスイブの）食事をして、ホテルに戻りました。

この日も前日と同様の快晴に恵まれたので、もう一度、例の観望場所に出かけ、写真を撮影しながら、最終日の星空を楽しみました。

さて、今回のニュージーランド旅行は、星空観望は念頭にあったもののむしろ観光中心で、撮影や観望のための本格的な機材は持っていかなかったにも関わらず、予想以上の星空を堪能することができました。そして何より、今回の観光旅行でも、やはりものを言ったのはレンタカーを使用する機動性でありました。また、Heritage Hotel は、（一応、狙ってはいたのですが）仮に赤道儀を持っていれば、庭先で星雲星団が撮影できる十分な暗さの稀有なロケーションでありました。

もう一度行きたい。いささか遠い場所ですが、星屋にとっても Queenstown は、リゾートの街でした。

左写真 南天の天の川と ISS

地平線の赤いグローはたぶんオーロラ

## メカが大好き Thetaのリモコンシャッター

360度全周撮影ができる Theta は、その場の全風景をまるまる切り取ってパソコンやスマホ上で再現できる楽しいカメラです。しかし、スナップ写真のために自撮りをする場合には、腕を伸ばしてシャッターを押すことから、カメラを持つ自分の腕が大きく写ってしまうため、いささか煩わしい写真になる場合が多いものです。

そんなときには、Web で提供されているスマホアプリを使ってリモコンでシャッターを切る機能が準備されていますが、このスマホアプリは、起動や機器の認証に手間がかかるうえに、電波状態が悪くなるとすぐに接続が切れてしまい、咄嗟の時には、いささか使い勝手が悪いものでした。

ところで、Theta 本体の USB 端子には、リコーのリモコンケーブルが接続できるようになっているので、これと自撮棒と組み合わせることで、腕の問題をクリアできます。さらに、もしセルフタイマー機能があれば手放しで写真を撮ることもできるのですが、そういう付属品は残念ながら発売されていません。そこで、Web でリコーのリモ

コンケーブルの構造や接続のシーケンスを調べた人がいないかを検索して先人の知恵を借り、PIC で目的の機能をするプログラムを組みました。

ついでに、USB ケーブルでリモコンを接続する構造になっている Fuji の X-M1 や XQ1 でもシャッターが使えるような機能も入れて、2 つのメーカーで使えるリモコンケーブルが完成しました。

現在試用中ですが、使い勝手にはまだ工夫が必要な感じです。



## ルピナス！ そのうち取り返しのつかないことになるか、羊さんが問題を解決するのか？

ルピナスはマメ科の多年草で、日本では5月末頃に見ごろを迎える色鮮やかな花です。地元の志摩市夏秋地区などでは、地域おこしの一環として休耕田に植えて、観光客の呼び込みに一役買っている場所もあります。

さて、先月にも書きましたが、Tekapo の周辺には広大なルピナスの畑があって、ガイドブックでは観光名所として紹介されています。今回の旅行では、折しも開花の時期と重なったため、先の休耕田とは桁違いの見渡す限り一面のルピナスに出会うことができました。

また、Queenstown から Tekapo までの道のりでは、道路端や河川敷のところどころ（というよりは、いたるところ）にルピナスの群生地がみられ、Tekapo に近づくにつれてその規模が大きくなっていく様子で、どうも、野生化したルピナスが道路や河川を伝って国中に広がっているようでした。

なんでも、ルピナスの呼び名は、ラテン語でオオカミを意味する 'lupus' に由来するのだそう

で、強靱で荒地でも育つことからこの名がついたともいわれています。秋のセイタカアワダチソウのような、この旺盛な繁殖力を目の当たりにすると、さもありませんかと思いました。

ちなみに、星座の学名もラテン語で表記することになっていて、南天にあるオオカミ座は、Lupus と呼称されます。さて、地上のオオカミは誰が退治するのでしょうか。ひょっとして羊さんでしょうか。それならば、まるで立場が逆転ですね。



## 編集雑記

ニュージーランド編がやっと完成しました。でも、もう1か月分オブショナルがあります。